

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 1 日

事業名称		交通機関対策事業費[交通機関対策事業]										
予算科目	款	8	土木費	項	3	都市計画費	目	1	都市計画総務費	事業番号	4	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	都市計画課 計画調整係					課長名	稲毛 秀憲					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	4 - 4		
【施策名】 道路・交通の整備									総合計画書(ページ)	89		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民					市の人口						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
公共負担により都営バス梅70路線の維持を図り、市内及び沿線市町公共施設等への移動手段を確保する。					協定期間(令和2年度)の公共負担額(当市分)							
→												
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
都営バス梅70路線の欠損額の3分の2相当額を、協定に基づき沿線市町で負担し、路線の運行維持を図った。					公共負担算定基礎額							
→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標					
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標				
	対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294						
	成果指標	②の数値	円	28,268,000	22,856,000	22,856,000						
	目 標	②の目標値										
		目標値設定の考え方										
		協定に基づく負担額のため、設定できない										
		活動指標	③の数値	円	213,483,000	188,085,000	188,085,000					
3 経費	事業費(実績)		円	28,334,000	22,922,000	22,922,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	14,200,000	11,494,000	11,494,000						
		特定財源(国・都・他)	円	14,134,000	11,428,000	11,428,000						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	1,648,800	1,662,000	1,676,000						
職員人件費(再任用)		円	0	0	0							
事業費+人件費		円	29,982,800	24,584,000	24,598,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度 S24 年度											
	(2) 環境の変化 昭和55年11月の東京都公営企業財政再建委員会において、「不採算路線については、関係自治体の公共負担を検討すべき」との答申を受け、当該路線の欠損額の3分の2相当額を公共負担するため、昭和59年6月に協定を締結した。鉄道の充実や自家用車の普及により、三多摩振興という当初の目的は薄れたものの、青梅街道の幹線的バス路線として、通勤・通学、通院等の足として利用されている。また、平成27年度から、西東京市が協定から脱退し、路線が縮小した。東は花小金井駅止まりとなっている。令和2年以降は、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少し、赤字が拡大する見込みである。											

事業名称	交通機関対策事業費[交通機関対策事業]				
担当部署・課長名	都市計画	課	計画調整	係	課長名 稲毛 秀憲

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：			
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）				
	当該路線については、慢性的に赤字の状況が続いており東京都と沿線市町で協定を結び赤字分を補填している状況にあることから、路線を維持するために引き続き協議を続け運行改善を図っていくことが求められる。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。				
	新型コロナウイルス感染症等の影響による赤字拡大への対応について協議を行った。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
	新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら協議を継続していく必要がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
	施策名： 道路・交通の整備 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 路線の維持を前提に、必要な対応を検討・協議していく。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	東京都及び沿線市町が関係する事業であることから、それぞれのおかれている状況等も考慮し調整を行う必要がある。				